

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部	教育政策課	担当課長名	西山 充広
(※) 第1期実施計画の事業名	学校支援地域本部推進事業		財務会計上の事業名	学校支援地域本部推進事業
(※) 第1期実施計画の分類番号/事業番号	5021	2	財務会計上の短縮番号	6080
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目1教育コミュニティづくりの推進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	地域の教育力の活性化を図り、豊かな人間関係の中で子ども一人ひとりの「生きる力」と「確かな学力」を育む。
事業の対象(誰を、何を)	市内中学校区(小・中学校)
事業の手段・方法(どのように)	学校支援地域本部を設置し、教職員、保護者、地域住民の連携を強める。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号)第13条。

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	1,993	1,588	1,441	1,553	90.7%	
主な内訳	報償金	1,920	1,530	1,384	1,485	90.5%
	消耗品費	50	41	40	40	97.6%
	通信運搬費	19	11	11	21	100.0%
人件費(人・千円)	0.40, 2,200	0.35, 2,310	0.25, 1,500	0.30, 1,880	71.4%	
内訳	正職員	0.20, 1,560	0.25, 1,950	0.15, 1,140	0.20, 1,520	60.0%
	再任用短時間勤務職員	0.10, 360	0.10, 360	0.10, 360	0.10, 360	100.0%
	任期付職員(フルタイム)	0, 0	0, 0	0, 0	0, 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.10, 280	0, 0	0, 0	0, 0	-
	非常勤職員	0, 0	0, 0	0, 0	0, 0	-
アルバイト	0, 0	0, 0	0, 0	0, 0	-	
支出合計 A	4,193	3,898	2,941	3,433	75.4%	
財源	国・府支出金	1,328	933	907	933	97.2%
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	2,865	2,965	2,034	2,500	68.6%	
一般財源比率 C÷A	68.3%	76.1%	69.2%	72.8%	90.9%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	学校支援コーディネーターは外部人材を活用している。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	学校に関わる学習支援、環境整備等を地域人材を活用してのコーディネーター業務。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	コーディネーターに地域人材を活用することで、学校と地域のつながりをより活性化させ、業務を全うできると思われるため。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	学校支援地域本部の設置	校	16	16	16	15	16
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーターの活動回数	回	958	679	737	1,000	1,120
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援コーディネーター	人	46	47	39	60	60
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	学校支援員	人	1,600	1,700	1,800	2,000	2,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		小学校の地域本部を含め、学校を拠点として地域の活動が活性化されてきているが、学校支援ボランティア数は目標値に達していないため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	各学校支援地域本部において、有効な活用をしているが、学校支援員の人数増等など改善の余地がある。						

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	平成23年度より、国委託事業「学校支援地域本部事業」が補助事業に変更されたことに伴い、新たに本事業をおこなった。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	学校を拠点として地域の活動が活性化され、よりよいコミュニティを形成する体制づくりが進んでいる。今後も継続していく。
現在抱える課題とその対策	課題 学校と地域を結ぶ学校支援コーディネーターの人材確保、次世代人材の育成をどう進めていくか。 対策 学校と連携をとり、地域人材の発掘、保護者世代への啓発が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	各学校支援地域本部の情報の共有化や教職員も含めた支援員の交流の促進が必要。小中一貫教育を意識した活動の活性化を図ることも引き続き継続していく必要がある。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部	教育政策課	担当課長名	西山 充広
(※) 第1期実施計画の事業名	教育コミュニティ推進事業		財務会計上の事業名	教育コミュニティづくり推進事業
(※) 第1期実施計画の分類番号/事業番号	5021	1	財務会計上の短縮番号	6077
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目1教育コミュニティづくりの推進		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	地域の教育力の向上を図り、子どもの生きる力を促進する。
事業の対象(誰を、何を)	市立学校園、保育所の園児・児童・生徒およびその保護者、市民
事業の手段・方法(どのように)	各中学校区で教育コミュニティづくり推進委員会を設置し、事業の企画、立案、実施を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成22年度 ~) <input type="checkbox"/> 時 限
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府補助金交付規則(昭和45年大阪府規則第85号)第13条.

2 事業費等

区 分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	589	416	414	578	99.5%	
主な内訳	報償金	359	236	211	418	89.4%
	消耗品費	150	100	80	80	80.0%
	保険料	80	80	80	80	100.0%
人件費(人・千円)	0.55, 3,330	0.35, 2,310	0.35, 2,310	0.30, 1,880	100.0%	
内訳	正職員	0.35, 2,730	0.25, 1,950	0.25, 1,950	0.20, 1,520	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.10, 360	0.10, 360	0.10, 360	0.10, 360	100.0%
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0.10, 240	0	0	0	-
アルバイト	0	0	0	0	-	
支出合計 A	3,919	2,726	2,724	2,458	99.9%	
財源	国・府支出金	268	188	188	188	100.0%
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	3,651	2,538	2,536	2,270	99.9%	
一般財源比率 C÷A	93.2%	93.1%	93.1%	92.4%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	学校・家庭・地域の3者が協働することが基本であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指 標 値	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進連絡会	回	4	3	3	3
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会	回	2	1	1	2
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくりに係る研修会参加人数	人	41	52	71	80
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	教育コミュニティづくり推進事業参加者人数	人	3,016	3,046	3,322	4,000
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		平成23年度に教育コミュニティづくり推進連絡会の運営方式を事務局主導から地域住民主導に変更した形態を継続することで、双方向の活発な意見交流が行われた。平成26年度は、さらに人材募集の啓発等、手法改善を図るため、教育コミュニティNEWSの発行、リーフレット作成を実施した。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	親学習の実施等、より有効な3者協働の教育コミュニティづくりの発展の可能性があるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	H23年度、国の委託事業が補助事業(教育コミュニティづくり・学校支援地域本部・家庭教育)に変更。
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	教育コミュニティづくり推進事業は学校・家庭・地域の3者協働での取組みであり、今後も継続していく。
現在抱える課題とその対策	課 題 地域人材の高齢化、世代交代をどう進めていくか。 対 策 次世代の育成を進めていくための研修会への参加要請を積極的に行い、次世代リーダーとしての自覚を育てていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	教育コミュニティづくりに関わる学校支援員の高齢化に伴う次世代育成が課題である。その解決に向け、教職員と地域住民、保護者の合同研修や啓発活動の実施が重要である。今後、コミュニティのニュースの内容や掲示方法を検討し、他機関との連携も視野に入れた募集や啓発、発信を進めていく必要がある。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	谷口 徹	
(※)第1期実施計画の事業名	こども会育成事業		財務会計上の事業名	こども会育成事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5023	1	財務会計上の短縮番号	6975	
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち			
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
	項目	項目3青少年の健全育成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	子どもの仲間集団による活動を通じて、子どもの健全な心身の発達を地域の大人の協力を得て育成する。
事業の対象(誰を、何を)	市内在住の就学3年前の幼児から中学3年生まで
事業の手段・方法(どのように)	地域が育むこども会の活動を支援するとともに指導者やリーダーの養成を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和37年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		1,984		1,850		1,750		1,838		94.6%
主な内訳	報償金	1,500		1,376		1,301		1,334		94.5%
	負担金	420		404		354		440		87.6%
	通信運搬費	63		70		55		64		78.6%
人件費(人・千円)		0.20	1,560	0.20	1,560	0.72	2,886	0.95	4,220	360.0%
内訳	正職員	0.20	1,560	0.20	1,560	0.07	546	0.20	1,520	35.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0	0.65	2,340	0.75	2,700	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,544		3,410		4,636		6,058		136.0%
財源	国・府支出金	0		0		0		0		-
	地方債	0		0		0		0		-
	その他財源	0		0		0		0		-
	うち受益者負担 B	0		0		0		0		-
	一般財源 C	3,544		3,410		4,480		6,058		131.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		96.6%		100.0%		96.6%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		すでに市が半額補助しているが、単位こども会の数や会員加入率が減少傾向にあるため、これ以上の保護者負担は望ましくないと考える。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	教育委員会がこども会活動の支援・育成を行うことは、青少年の健全育成において非常に重要であり、アウトソーシングは、活動の活性化という視点に逆行し、単位こども会数や加入率の減少を加速させる可能性がある。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指 標 値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	単位こども会数(加入率)	%	29.71	28.24	27.06	27	45
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	リーダーの登録数	人	224	204	215	180	200
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	会員数(幼児小中学生)	人	1,826	1,751	1,710	1,600	1,750
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	主行事の参加者数	人	829	1,108	1,075	1,000	850
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		会員数(幼児小中学生)の減少に歯止めがかからなかった。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	各こども会の育成者の負担感を育成者研修会などを通じて、各こども会の活動内容の精選を進めていく。							

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	市の子ども会行事である、一泊キャンプ、ドッジボール大会、カルタ大会は現在も多くの参加者がある。
現在抱える課題とその対策	課 題 子ども会参加児童数の減少。 対 策 大きな行事だけでなく、各単位こども会の取組みの精選をはかり、育成者を含め、活動への参加しやすさを図っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	学校・家庭・地域、協働で池田の子どもたちを育むためにも子ども会を地域の力として活用できるように、池田市子ども会育成連絡協議会の事務局として子ども会行事への参加率を高め、指導者の育成を図っていく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	谷口 徹
(※)第1期実施計画の事業名	少年団体育成事業		財務会計上の事業名	少年団体育成事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5023	2	財務会計上の短縮番号	6980
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市内のボーイスカウトおよびガールスカウト活動の活性化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市内在住の青少年
事業の手段・方法(どのように)	市内のボーイスカウトおよびガールスカウト活動に対し、行事報償金を支援することにより、青少年の健全育成団体の運営、活動の支援を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	126	126	126	126	100.0%	
主な内訳	報償金	126	126	126	100.0%	
					-	
人件費(人・千円)	0.10 780	0.10 570	0.06 258	0.03 188	60.0%	
内訳	正職員	0.10 780	0.05 390	0.01 78	0.02 152	20.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0.05 180	0.05 180	0.01 36	100.0%
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト	0	0	0	0	-	
支出合計 A	906	696	384	314	55.2%	
財源	国・府支出金	0	0	0	0	-
	地方債	0	0	0	0	-
	その他財源	0	0	0	0	-
	うち受益者負担 B	0	0	0	0	-
一般財源 C	906	696	384	314	55.2%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	受益者負担がないため。					

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	青少年健全育成団体であるボーイスカウト・ガールスカウトを支援しているため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)	
指標値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団員数	人	210	210	223	220	210
	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団員数	人	68	91	87	85	100
	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ボーイスカウト団数	団数	5	5	5	5	5
	☆	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ガールスカウト団数	団数	2	2	2	2	2
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		ボーイスカウト・ガールスカウトともに現状の団数を維持しながら、ボーイスカウトについては、団員数の増加が見られるため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		今後、ボーイスカウト・ガールスカウトの団員数の増加を図ることは、現状の子どもを取り巻く社会環境の中では非常に難しいことではあるが、青少年の健全育成のためにも支援活動を続けていく必要がある。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	ボーイスカウト・ガールスカウト活動の活性化は、青少年の健全育成において非常に重要であり、今後も支援を継続する必要があると考える。	
現在抱える課題とその対策	課題	団員数の維持のため活動の活性化を図る。
	対策	広報活動の充実を支援。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後ともボーイスカウト・ガールスカウトの活動が継続していけるように活動を支援していく必要がある。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	谷口 徹
(※)第1期実施計画の事業名	少年の主張開催事業		財務会計上の事業名	少年の主張開催事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5023	3	財務会計上の短縮番号	7015
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興		
	項目	項目3青少年の健全育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	小・中学生に社会の一員としての自覚と行動を促し、青少年の健全育成に対する市民の理解と関心を深める。
事業の対象(誰を、何を)	市内小・中学校の児童・生徒
事業の手段・方法(どのように)	地域や社会から感じたこと、考えること、訴えたいことなどの作文を募集し、その中から優秀作品を選出し、応募者本人の言葉で人前で発表してもらう。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和37年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25			
事業費(千円)	67	63	63		81		100.0%			
主な内訳	賞賜金	31	27		34		103.7%			
	補助金	19	19		19		100.0%			
	報償金	8	9		18		111.1%			
人件費(人・千円)	0.20	1,140	0.30	1,500	0.26	978	0.06	376	86.7%	
内訳	正職員	0.10	780	0.10	780	0.01	78	0.04	304	10.0%
	再任用短時間勤務職員	0.10	360	0.20	720	0.25	900	0.02	72	125.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
アルバイト		0		0		0		0	-	
支出合計 A	1,207	1,563	1,041		457		66.6%			
財源	国・府支出金	0	0		0		-			
	地方債	0	0		0		-			
	その他財源	0	0		0		-			
	うち受益者負担 B	0	0		0		-			
一般財源 C	1,207	1,563	1,041		457		66.6%			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%		100.0%			
受益者負担率 B÷A							-			
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	受益者負担がない									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	青少年指導員協議会が事業運営に当たっている。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	発表大会出場者数	人	18	18	18	18	18
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	応募作品数	作品	748	666	647	500	500
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	予想を上回る応募があり、内容的にも質が高いものが多く、青少年の健全育成を図る機会となったため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	子どもたちが自分の言葉で自分の思いを人前で発表することにより、社会のことを理解する良い機会となっている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	作品の募集時期、発表大会の実施時期も、子どもたちがしっかりと取り組める現状の維持が望ましい。	
現在抱える課題と対策	課題	主張、思いを文にまとめる力、自分の言葉として発表する力の醸成には学校との連携が不可欠。
	対策	小中学校国語科の授業で作品募集に触れていただくなど、学校への働きかけを進める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	社会に関心を持ち、社会の一員であるという意識の醸成のために、少年の主張は機会提供として重要。今後も学校との連携が必要。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	谷口 徹	
(※)第1期実施計画の事業名	成人の集い開催事業		財務会計上の事業名	成人の集い開催事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5023	4	財務会計上の短縮番号	6970	
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち			
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
	項目	項目3青少年の健全育成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	成人の日を迎えるにあたり新成人が一堂に会して成人になったことを自覚するとともに未来を祝福する
事業の対象(誰を、何を)	新成人
事業の手段・方法(どのように)	新成人による「成人の集い」実行委員会を設置し、実行委員による運営を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和37年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		1,248		1,248		1,261		1,293		101.0%
主な内訳	行事委託料	800		800		800		838		100.0%
	賞賜金	390		390		398		390		102.1%
	通信運搬費	55		55		60		62		109.1%
人件費(人・千円)		0.40	2,280	0.35	2,310	0.28	1,764	0.17	1,212	80.0%
内訳	正職員	0.20	1,560	0.25	1,950	0.18	1,404	0.15	1,140	72.0%
	再任用短時間勤務職員	0.20	720	0.10	360	0.10	360	0.02	72	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,528		3,558		3,025		2,505		85.0%
財源	国・府支出金	0		0		0		0		-
	地方債	0		0		0		0		-
	その他財源	0		0		0		0		-
	うち受益者負担 B	0		0		0		0		-
一般財源 C		3,528		3,558		3,025		2,505		85.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		受益者負担なし								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	会場(池田市民文化会館)の使用についてはISSに業務委託しており、式典運営についてもっとも精通しており、その経験と実績により充実した行事の遂行が確保されているため。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	新成人による実行委員会の活動はアウトソーシングに適さないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加率	参加者数	%	67	67	65	70	70
					681	699	695	650	650
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		参加率で見ると女性が70%、男性が60%と、男性の参加に課題を残している。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		参加率を目標である70%に近づけるためにも、より有効な広報活動が必要。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度~平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	新成人が運営することにより、参加者の減少は少なく、自覚を持ってもらえている。	
現在抱える課題と対策	課 題	日時や場所についての市民、新成人からの電話問い合わせが多い。
	対 策	広報誌だけでなく、HPの有効活用なども積極的に考えていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	これからの地域を支える青少年の健全育成のため、運営に協力をいただいている青少年指導員協議会やその年の新成人代表とともに市を上げて新成人を祝う意味は大きい。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 教育センター		担当課長名	谷口 徹	
(※)第1期実施計画の事業名	1/2成人式開催事業		財務会計上の事業名	1/2成人式開催事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5023	5	財務会計上の短縮番号	7035	
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち			
	節	第2節学校・家庭・地域をつなぐ地域教育の振興			
	項目	項目3青少年の健全育成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	10歳を成人までの中間点と位置づけ、それまでの育ちを振り返って祝うとともに20歳の成人式での再会を誓う。
事業の対象(誰を、何を)	市内在住の小学4年生
事業の手段・方法(どのように)	実行委員会による企画・運営
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成17年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		617		616		622				101.0%
主な内訳	行事委託料	400		400		400				100.0%
	賞賜金	210		210		217				103.3%
	通信運搬費									-
人件費(人・千円)		0.30	2,340	0.11	858	0.13	1,014	0.00	0	118.2%
内訳	正職員	0.30	2,340	0.11	858	0.13	1,014	0	0	118.2%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,957		1,474		1,636		0		111.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,957		1,474		1,636				111.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%				100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容		事業廃止のため。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	事業廃止のため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値	
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標値	☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加率	%	61	57	51		70
		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	566	568	487		
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		参加率が目標に到達しなかったため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	事業開始後10年が過ぎ、開催内容・場所の見直しが必要。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	1/2成人式を小中一貫教育の取組みの中で各学園ごとに開催の仕方を考える。	
現在抱える課題とその対策	課題	事業開始から10年たち、年々参加率が下がっている。
	対策	事業廃止後、開催方法・内容を各学園の取組みとして再考していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	事業開始から10年たち、一定の成果をあげた。これを一つの区切りとし、事業内容・手法については、各学園ごとに検討していく。	